



## I. 前回 (H26/8/4 開催) 全体会議議事録の確認

(資料番号なし, pp.1-5)

- ・資料に基づき説明がなされ、承認された。

## II. 理事会 (H26/9/26, 10/22) 開催報告

(運営資料-26-1.1, pp.6-15)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・文科省プログラムのFSとして採択された「汚染水対策・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム」は、調査・研究部所管の会長特別懇談会として活動している。

## III. 全体関係

### 1. 調査・研究部 平成27年度予算および事業計画案

(運営資料-26-1.2, pp.16-23)

- ・資料に基づき説明がなされ、承認された。
- ・事業計画の「DVD-ROMの販売促進」を削除する。
- ・今年度は行事による収入(参加費等)が少ない状況である。来年度は参加者増を図る。
- ・東日本大震災報告書の販売促進(700部)を行い収益を上げる。

### 2. 第17回事業企画賞候補案および審査員の選出

(運営資料-26-1.3, pp.24-26)

- ・資料に基づき説明があり、審査員は平川先生(防衛大)に決定した。
- ・来年度より輪番制とし、研究統括委員会 → 行事委員会 → 学術情報委員会 → 研究統括委員会 → . . . .
- ・来年度の事業企画賞に、地域との連携に貢献したことを推薦の理由として、第59回地盤工学シンポジウムの内容を出す。今年度は候補なし。

### 理事会報告 3. ダイバーシティによる女性部員の参画の要請→現在ゼロについて意見あり

- ・女性部員を各部会に増やすことを推進することとした。女性会員の負担にならないように配慮しながら、推薦する。
- ・部員交代時に女性を入れるようにする。

## IV. 委員会構成関係

## V. 研究統括委員会関係

### 1. 来年度新設研究委員会公募状況

(運営資料-26-1.4, p.27)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・応募の打診が2件あり、正式な応募を受けて審査することとなった。

### 2. 災害調査団後の研究委員会調査

(運営資料-26-1.5, pp.28-29)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・災害調査団とは別に、当部所管研究委員会が視察をすることについて、研究委員会委員長から三村先生(災害連絡会議座長)に報告をする。
- ・今後、研究委員会の災害視察のルール作りをする。最初に先方に確認し、調査・研究部には報告する。

### 3. 研究企画委員会の体制の整理

(運営資料-26-1.6, pp.30-32)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・動きのない委員会については廃止する方向で考える。研究統括委員会で検討する。

## VI. 行事委員会関係

### 1. 研究発表会

(運営資料-26-1.10, p.33)

- ・資料に基づき説明がなされた。

#### 1) DSルール

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・来年度のDSの希望件数は、締切後に2件増加して14件。

・研究委員会以外に2件のDSの希望が出ている。過去の事例においても数件あり、会場としては可能であることから両者ともお受けする。募集後の採択等についてはDS主催者が行う。ただし、プログラム編成については調査・研究部のほうである程度協力はできる。方法については2件の代表に確認することとなった。

## 2) 投稿分類

(運営資料-26-1.7, pp.34-42)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・最小の統廃合の変更および表記の変更にとどめる。
- ・地盤の可視化をサウンディング・物理探査に含める。

## 3) 展望の講師案

・杉井部長が、寒地研と産総研に当たることとなった。なお、講演可能人数について、会場および時間割の都合があると思われるので、実行委員会に問い合わせることとする。

## 4) DVDの廃止案について

(運営資料-26-1.8, pp.43-47)

- ・資料に基づき説明があり、下記の意見により見送ることとなった。総務部長への回答の資料は、北九州大会の実行委員会で整理することとなった。
- ・4000万円の前算の中で100万円の削減は大きくないと思われる。
- ・会場内のwifi環境については地域によって違うので難しい。
- ・会場の受付係などのアルバイトの確保が難しい。
- ・実行委員会の労力と経費のバランスを考えなくてはいけない。
- ・会場によって100万円の利益が出るか怪しい。
- ・サービス低下をするようなことはいけない。
- ・支出を抑えるよりも収入を増やす。

## 2. 地盤工学シンポジウム

### 1) 第59回地盤工学シンポジウム

(運営資料-26-1.10, pp.48-54)

- ・資料に基づき説明がなされた。

## VII. 学術情報委員会関係

### 理事会報告 1. 欠落データ補完に関する対応

(運営資料-26-1.11, p.55)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・地盤工学研究発表会については全部そろっている。
- ・学会誌、S&F、地盤工学シンポジウムについては、年度内に完成させることを目途に作業することとなった。委員会主催シンポジウム、報告書については、費用面を含め、すべてのデータを補完させるかどうか、あらためて検討することとなった。
- ・来年の会費請求の時にチラシ（電子図書室および震災報告書の広報）を同封することとなった。

### 理事会報告 2. 60周年記念DVDの販売促進 残19セット

- ・残り14セットとなった。

## VIII. その他

### 1. 未収・未払金問題について

- ・過年度未収金については雑損処理を行うが、地盤工学研究発表会の黒字分の本部の取り分から減額する。
- ・投稿費および参加申し込み費の支払い方法について、効率的な仕組みを検討することとなった。
- ・支払いがない場合は掲載させないこととするかどうか、引き続き検討することとなった。
- ・自動返信のシステムを用い、請求書を送る方法を検討する。
- ・徴収漏れがなくなるよう、厳密に取り扱う方針である。

### 2. 理事会（平成26年11月28日(金)開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項]

3. 総務部会（平成26年11月11日（火）開催予定）への提案事項

4. 次回以降の部会・運営会議開催日

・26年度第3回調査・研究部会 : 平成2年 月 日（ ） 時～

・年内は開催しない予定。次回は、1月を目途にあらためて調整する。

★ 平成26年度 理事会 開催日程（予定含む）

① 4月23日（水） ※書面審議

② 5月16日（金）

★ 6月12日（木） 総会/理事会

③ 6月19日（木） ※書面審議

④ 7月24日（木）

⑤ 9月26日（金）

⑥ 10月22日（水） ※書面審議

⑦ 11月28日（金）

⑧ 12月24日（水） ※書面審議

⑨ 1月30日（金）

⑩ 2月19日（木） ※書面審議

⑪ 3月13日（金）

-----  
⑫ 4月22日（水） ※書面審議

⑬ 5月15日（金）

★ 6月11日（木） 総会/理事会